

《各県コーナー》

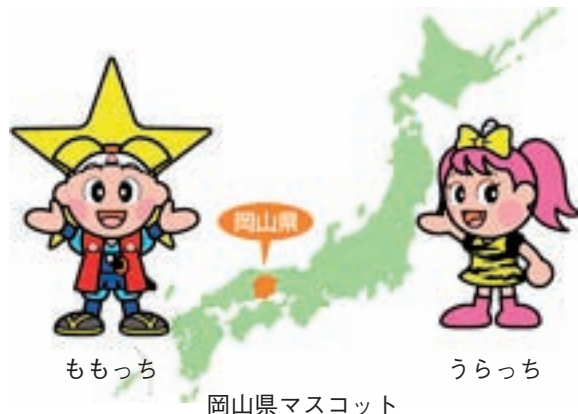
岡山県における平成25年災害について

.....岡山県土木部防災砂防課防災班

1 岡山県について

岡山県は、鳥取県、島根県、広島県、山口県とともに中国地方に属し、東は兵庫県、西は広島県、北は山陰地方、南は瀬戸内海を臨んで四国に接し、中四国地方の交通の要衝として古くから重要な位置にあります。県内は縦横に延びる高速道路網、国内外へ飛び立つ岡山空港、新幹線をはじめとする東西南北につながる鉄道網など、全国まれにみるほど交通基盤が充実し、中四国のクロスポイントとして着実に発展を続けています。平成21年4月には、県都である岡山市が全国で18番目となる政令指定都市になりました。

また、県北部は四季折々の姿を見せる中国山地、南部は美しく彩られた瀬戸内海といった自然環境に恵まれています。そして、温暖な気候を生かした質の高い農業が営まれており、マスカットや白桃をはじめとし、豊富な果物が特産となっています。

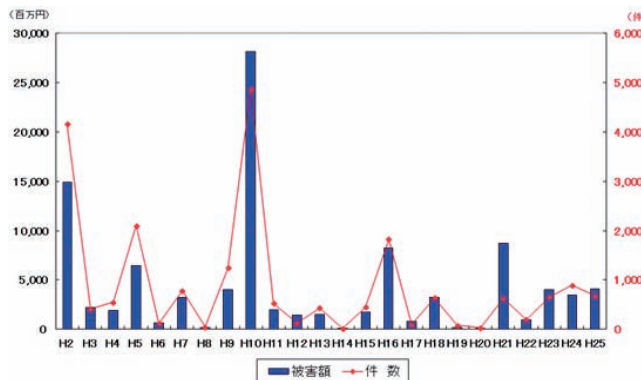


2 気象概況

岡山県は、晴れの日が多く、温暖な気候であることから、県のトータルイメージとして「晴れの国おかやま」というフレーズが使われています。

<参考データ>

- ・降水量 1 mm未満の日：276日 <全国第 1 位>
 - ・日照時間の長さ : 2,030時間 <全国第14位>
 - ・降水量 : 1,105mm (少ないほうから) <全国第 3 位>
- (気象庁「全国気候表 (S 56～H 22年の平均値))



岡山県の災害発生状況

《各県コーナー》

しかしながら、イメージとは逆に毎年約500件程度の被害が発生しています。また、数年に一度は甚大な災害が発生しており、平成以降、県内に甚大な被害をもたらした異常気象は、下記のとおりです。

- ①「平成2年台風19号」
- ②「平成10年台風10号」
- ③「平成16年台風16号、23号、梅雨前線」
- ④「平成21年台風9号」

この内、②「平成10年台風10号」では、県北部にある津山雨量観測所において52mm/hr、210mm/24hrを観測するなど、記録的な集中豪雨となり、「吉井川河川激甚災害対策特別緊急事業」及び「皿川河川災害復旧助成事業」が採択されました。また、④「平成21年台風9号」による災害では、県北東部にある江見雨量観測所において、59mm/hr、243mm/24hrの非常に激しい降雨を観測し、(一)山家川流域に甚大な被害が発生し、「山家川災害復旧助成事業」が採択されました。

3 平成25年災害発生状況について

平成25年の岡山県の主な災害は、「7月15日豪雨(気象コード:13185)」及び「9月3日から4日豪雨(気象コード:13280)」により発生しました。これらの災害について紹介させていただきます。

・7月15日豪雨

上空の寒気と南からの暖かく湿った気流の影響で大気の状態が非常に不安定となり、県北部を中心に活発な積乱雲が発達しました。

この積乱雲による豪雨により、本県では15日7時53分に注意体制をとり、その後9時8分に警戒体制へと移行しました。

解析雨量では県北部の真庭市奥田観測所で午前10時までの1時間に70mm、最大24時間雨量219mmの猛烈な雨となりました。

体制配備中に7市町村で土砂災害警戒情報が発表されました。



真庭で記録的豪雨
(21面に関連記事)

暖かく湿った空気や上空の寒気の影響で西日本を中心に大気の状態が不安定となり、岡山県内は15日、各地で猛烈な雨に見舞われた。気象レーダーの解析によると、真庭市は午前9時から1時間、約100mmの豪雨に襲われ、岡山地方気象台は県全域に「記録的短時間大雨情報」を発表。同市北西を東西に走る国道487号では、崩れの山から大量の土砂が流出し、傘大を上回る石もとも路面を覆った。15日午後3時3分、真庭市津山(上)徳山

【平成25年7月16日 山陽新聞】

・9月3日から4日豪雨

9月1日から4日にかけて前線が西日本に停滞しました。一方、台風17号から変わった温帯低気圧の影響で、前線に向かって南から暖かく湿った空気が流入しました。このため、大気の状態が非常に不安定となり、県内各地で激しい雨が断続的に降り、大雨となりました。本県では、1日15時49分に注意体制をとり、3日10時20分から警戒体制、4日7時20分から特別警戒体制をとり、県内全ての地域で大雨・洪水警報が発表されました。

この雨により、河川の防災情報としては、洪水予報(氾濫危険情報)、避難判断水位情報、水防警報が多数の河川で発表され、土砂災害警戒情報については、全市町村において発表されました。



【平成25年9月5日 山陽新聞】

《各県コーナー》

[24時間最大雨量]



9月3日から4日の24時間最大雨量

180件、市町村284件の合計464件で、この内、県災51件、市町村災178件の合計229件（49%）が県西部の高梁市内での災害でした。



9月3日から4日豪雨
砂防指定地 尾頃川（岡山県高梁市）

4 被災状況

・7月15日豪雨

7月15日豪雨による被害件数は、県74件、市町村73件の合計147件となりました。この内、県災では74件全て、市町村災では66件の合計140件（95%）が県北部の真庭市内での災害でした。

・9月3日から4日豪雨

9月3日から4日豪雨による被害件数は、県

平成25年災 発生状況一覧

	県 工 事		市町村工事		合 計	
	(件)	(千円)	(件)	(千円)	(件)	(千円)
1次査定	0	0	20	79,860	20	79,860
2次査定	74	714,770	73	403,169	147	1,117,939
3次査定	12	66,554	31	110,019	43	176,573
4次査定	180	1,464,330	285	1,225,140	465	2,689,470
4次査定 (公園災)	1	49,453	3	27,355	4	76,808
全 体	267	2,295,107	412	1,845,543	679	4,140,650



7月15日豪雨
国道482号（岡山県真庭市）

5 主な被害箇所

・7月15日豪雨

7月15日豪雨では、岡山県と鳥取県を結ぶ主要な道路である国道482号が法面崩壊により全面通行止めとなりました。本県では、鳥取県及び西日本高速道路株式会社ご協力のもと、国道482号と並行する米子自動車道の一部区間を無料開放することで応急的に迂回路として使用しました。国道については早急に応急工事を実施し8月7日に通行止めを解除しました。

